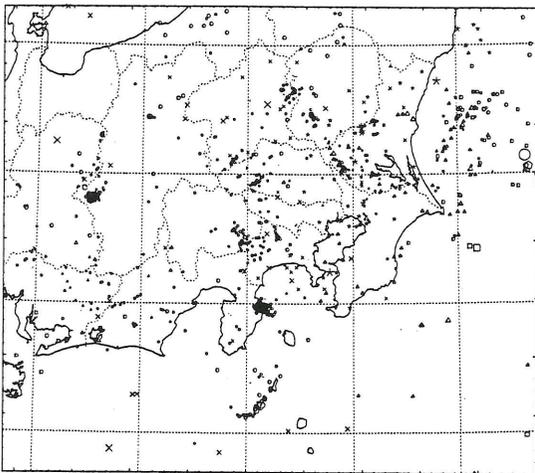


## 5月の地震活動

マグニチュード (M) 4 以上の地震は全部で12個観測された。これらのうち3個は深さ150km以深に発生した地震, 2個は茨城県沖の地震, 1個は銚子東方沖の地震, 1個は房総半島東方沖の地震である。その他の地震は, 浦賀水道の地震 (16日21時23分, 深さ88km, M4.1), 伊豆半島東方沖の地震 (1日06時02分, 深さ8km, M4.2, 1日09時45分, 深さ7km, M4.3, 1日12時03分, 深さ5km, M4.3, 3日03時19分, 深さ7km, M4.4) である。

5月26日から始まった伊豆半島東方沖の地震は, 6月1日から3日までで213個観測された。その後活動は沈静に向かった。6月中に, 316個の小・微小地震が観測された。このうち最大地震は6月3日M4.4であった。

他に4月23日最大地震M5.0が発生した長野県西部の群発地震活動域では, 6月中に165個の地震が観測された。このうち最大地震は6月5日M3.7であった。



## 人事異動

6月22日付 採用 管理部庶務課長補佐  
永田 菊彦  
転任 無機材質研究所管理部  
技術課長 小見波正隆  
配置換 先端解析技術研究所  
主任研究官  
併任 〃 情報解析室長

〃 防災総合研究部

福園 輝旗

6月25日付 配置換 科学技術庁研究開発局  
ライフサイエンス課長

上甲 和郎

昇任 管理部長 折田 義彦

7月1日付 出向 航空宇宙技術研究所管理部  
安全施設課施設保安係長

遠藤 優

転任 管理部施設課管理係長

福島 崇文

## 国際交流

6.3~6.10 竹田 厚 (総括地球科学技術研究官) 日中科学技術協力推進のための連絡調整 (中国)

6.6~6.19 大倉 博 (先端解析技術研究部隔測解析研究室長) 自然災害軽減のためのリモートセンシング技術の応用について討議するため (中国)

6.13~6.26 佐藤 威 (新庄雪氷防災研究支所主任研究官) アジアモンスーン機構に関する研究の小課題「チベット・ヒマラヤにおける水文変動に関する研究」のため成都において観測機器の操作トレーニングを行い, チベットの観測点を視察する。(中国)

## 主な来訪者

6月1日(火)会計検査院牛嶋第5局審議官ほか

6月3日(木)リモートセンシング会々長・石井東大  
名誉教授

6月4日(金)物理探査学会メンバー

6月10日(木)科学技術庁研究開発局山下防災科学技  
術推進室長

6月25日(金)群馬大学工学部稲村教授ほか

6月30日(水)日本大学文理学部萩原教授ほか

編集兼 防災科学技術研究所  
発行 〒305 茨城県つくば市天王台3-1  
TEL (0298) 51-1611 (代)

(再生紙使用)